

「探究活動ガイダンス」活動報告

評価アンケートの生徒記述より（抜粋）

（設問）探究活動ガイダンスに参加して、研究に対するあなたの気持ちや考え方の変化を具体的に記しなさい。

私の研究へ対する意識が大きく変わったのは、松沢先生やショートガイドで担当してくださった方のふと“疑問に思っただけで実験してみた”という言葉聞いたときです。私の思っていた研究はあらかじめ用意されたテーマを調べていくという受動的なものでした。しかし、実はそうではなく、自分で気になったものを調べるという能動的なものであるということに気がつきました。疑問をもつことの大切さに改めて気づきました。そして、その疑問をそのままにせず、解決するという姿勢がとても大切であると思いました。この体験を通し、研究に対して、また疑問をもつことに対する価値観が大きく変わりました。これからは何事にも疑問をもち、また、それを解決するという姿勢を大切にしていきたいです。



松沢先生の講演を聴いて、教科の問題などと違って、研究では答えがはっきりしていないことを多くの実験や検証を繰り返しますが、その方法には様々なものがあると思いました。松沢先生のように人間について考えるために一度視野を広げてチンパンジーを通して考えるのはすごいと思いました。またモンキーセンターのショートガイドでも、身近にあるものに疑問を持って研究しているというお話を聞いて、研究には、身近なことでも多くの疑問を持ち、そして、それに対して実験を行い、どう導き出すのかを考える広い視野が大切なのだと思います。私も勉強の時に、ただ知識を入れるだけでなく、理由などを一度自分で考えてみることで、勉強を少し楽しみながら、さらに自分も広い視野や様々な考え方を得ていきたいと思いました。今回の探究活動ガイダンスは、私にとって、とても有意義なものであったと思います。

僕は今まで「世の中のほとんどは誰かが調べて分かっているし、分かっているなくても誰かが調べるだろう」と思っていた。しかし、ガイダンスに参加し、今までの自分を恥じた。最初、「人間とは何か？」という質問に対して、はっきり答えが出なかった。自分も人間なのにそれについて深く考えていなかった。疑問に対する答えをネットで調べ、詳しくなった気でいて、答えが出なくても「まあいいか」と放置した。人は考えられる。想像できる。今回は「疑問は追究するほど、新たな疑問が生まれるんだな」と感じた。今後は、その疑問を放置せず、僕にできる限界まで「疑問」を発展させていきたい。



中学校での課題研究では、ある程度答えがあるものを研究していたが、今日の講演を聞いて、1から原点に戻って実験し、次にそれを踏まえた上で新しい展開をし、その展開の中から新たな見方をし、1つの実験から何本もの矢印が出て、疑問が広がっていくのを感じた。モンキーセンターでは、サルをじっと眺めてみることで、特殊な行動をすることを発見し、科学（生物）の謎というものを深められるのだなと感じた。今まではテーマに沿った調べ物をし、結果が出たら終わりだと思っていたが、このガイダンスでテーマにとらわれず幅広く研究した上で、違う見方からテーマを結びつけ、物の動き（実験の始まりと終わりの間）、過程をじっくりと見た上で、結果が出ても、「なぜこうなったか。なら次はこうなるのではないか」と次々と仮説や疑問を生み出していくことの大切さを知った。「科学には終わりはないのだ。」

今日のガイダンスを聞いて、今まで好きだった研究がもっと好きになりました。結果が出ていることを自分でまた研究もするが、その結果を否定して新しいことが発見できることはとてもすごいと思いました。自分は今まで理科の実験のようにすでに分かっている物を実験していたが、新しい発見に向けての実験が一番大切なことだと思った。今は、日々色々な事が解明されていて、それは大人が研究しているから解明されている。でも、次は、自分たちの世代が色々な事を解明していかなければならない時代が来ます。大きな謎でなくても、小さな疑問を自分で研究して新しい事も発見できたら良いなと思いました。



探究活動ガイダンス評価アンケート集計結果

◇選択式回答設問項目

- (1) 日本モンキーセンターにおいて、観察やショートガイドで学んだことから新たな問題点や疑問点を見出すことが出来た。
→ 問題意識
- (2) 松沢先生の講演を聞くことにより「探究する」ことへの興味・関心が高まった。
→ 研究に対する興味・関心
- (3) 「人間とは何か？」というテーマについて、どのような方法で研究が進められたのか理解することが出来た。
→ 仮説の立て方(研究方法)
- (4) 「研究所で研究することと、中学・高校の授業で教科書の内容を学ぶことの違い」を感じる事が出来た。
→ 知識活用
- (5) 今回の探究活動ガイダンスで、「研究には知識を活用して十分に考え深く追究することが大切である」と感じた。
→ 思考の繰り返し
- (6) 探究活動ガイダンスを通じて、研究に対する自分の気持ちや考えが大きく変化した。
→ 変容(探究心)
- (7) 探究活動ガイダンスは自分にとって有意義であり、研修内容を他人と是非共有したい(他人に知らせたい)と思った。
→ 発信の必要性

探究活動ガイダンス(選択式解答)

